

イノベーションと科学の同時危機 — 日本沈没を救う方法を考える

日時：2019年9月19日（木）14:00～15:00

会場：株式会社国際電気通信基礎技術研究所（ATR）

京都府相楽郡精華町光台二丁目2番地2(けいはんな学研都市)

20世紀後期に「科学技術立国」として世界を牽引した日本の科学とハイテク産業は、21世紀に入って突然凋落を始めました。経済の停滞にとどまらず、社会への大打撃を招きかねないイノベーションの喪失。いったい何が起きたのでしょうか？今回、著名なイノベーション理論研究者であられる京都大学 山口栄一教授をお迎えし、その原因が科学技術イノベーション政策の失敗にあったこと、科学の発見からイノベーションが生まれる原理、日本の科学とイノベーション復興に向けた具体的な処方箋を示していただきます。

また、イノベーション・ソムリエの不在とイノベーターの欠如を論じ、イノベーション生態系をどう再生させるかを提示いただきます。

〈プログラム〉

13:30-14:30 開場・受付

14:00-14:05 けいはんなRCご挨拶

鈴木 博之氏（ATR代表取締役専務・けいはんなRC戦略ディレクタ・イノベーションハブ推進リーダー）

14:05-15:40 講演

「イノベーションと科学の同時危機—日本沈没を救う方法を考える」

山口 栄一氏（京都大学大学院教授）

申込締切：2019年9月18日 17:00

参加申込：https://keihanna-rc.jp/events/event/seminar_190919/

参加費：無料



[主催] けいはんなリサーチコンプレックス <https://keihanna-rc.jp/>

[事務局] 株式会社 国際電気通信基礎技術研究所（ATR） 事業開発室